

2008
Investor Relations
Arealink



2008年度上半期 業績概要

2008.8
エリアルリンク株式会社

2008 Investor Relations Arealink

Part-1 2008年度上半期業績サマリー

(1)	損益計算書(連結)	4
(2)	セグメント別損益計算書(連結)	5
(3)	不動産運用サービスのセグメント別・損益計算書(連結)	6
(4)	貸借対照表(連結)	7
(5)	ストレージ事業の2008年度上半期の実績	8

Part-2 事業の方向性

(1)	エリアリンクの現況	10
(2)	エリアリンクを取り巻く市場環境	11
(3)	セルフストレージ事業計画	12
(4)	所有物件	13
(5)	ストック型ビジネスモデルの特性	14

Part-3 ストレージ事業

(1)	セルフストレージとは	16
(2)	商品ラインナップ	17
(3)	出店計画	18
(4)	管理体制の強化	19
(5)	現場の全国分布状況	20
(6)	全国ブロック別売上構成	21
(7)	首都圏分布状況	22
(8)	仕入れ形態・内装設備の調達形態	23
(9)	ビジネスシミュレーション	24
	ストック型ビジネス(不動産運用サービス事業)の商品構成	25

参考資料

(1)	ストック型事業の進捗状況	27
(2)	海外のセルフストレージ市場 / ファクトシート	28
(3)	ストレージ事業現場 / トランク型	29
(4)	ストレージ事業現場 / コンテナ型	30



PART-1

2008年度上半期 業績サマリー

(1) 損益計算書(連結)

今期は、事業基盤の舵取りをストック型に変更。ストック型ビジネスモデルの下、連結ベースの売上・経常利益の進捗は計画通り。厳しい環境の下、上半期の不動産販売の売上が約18億円と前年同期比では大幅減収だが、通期計画上は予定通りの進捗。事業セグメント別詳細は次ページを参照。

当期利益は、1,100百万円赤字計上。特別損失(1,586百万円)は貸倒引当金の繰り入れで1,272百万円(前渡金分 1,048百万円 3社、売掛・未収金 224百万円)、固定資産の減損が180百万円(店舗 1件)、投資有価証券評価損等その他で134百万円。

単位:百万円

項目	2007年 (実績)	2007年 上半期	2008年中間期 (当初計画)	2008年 上半期
売上高	30,260	21,676	7,730	8,204
売上総利益 (粗利率)	7,183 (23.7%)	5,570 (25.7%)	1,320 (17.1%)	1,589 (19.4%)
販売管理費	3,257 (10.8%)	1,408 (6.5%)	784 (10.1%)	1,006 (12.3%)
営業利益 (営業利益率)	3,926 (13.0%)	4,161 (19.2%)	535 (6.9%)	582 (7.1%)
経常利益 (経常利益率)	3,389 (11.2%)	3,862 (17.8%)	256 (3.3%)	274 (3.3%)
当期利益 (当期利益率)	1,343 (4.4%)	2,201 (10.2%)	125 (1.6%)	1,100 (13.4%)

〔2〕セグメント別損益計算書(連結)

不動産再生・流動化サービス事業の売上高は約1,910百万円、粗利で約318百万円で利益率が計画より下回ったが、売上は計画以上。

不動産運用サービス事業の売上高は前年同期比約13%増。同営業利益は約21%減。

ストレージ事業は、2007年実績対比で今期の売上の減少は、ストレージの流動化の大幅削減が要因であり、ストレージ真水の賃料の部分は増収増益基調。特に、上半期は、真水部分の営業利益で予定より前倒して黒字転換。

単位:百万円

		2007年			2008年				
		通期実績	上半期	利益率	通期計画 (当初)	中間期計画	上半期	利益率	
不動産運用サービス	ストレージ事業	売上高	5,296	3,070		5,140	2,665	2,807	
		売上総利益	1,289	948	30.9%	834	343	666	23.7%
		営業利益	616	672	21.9%	350	101	405	14.4%
	その他 不動産運用サービス	売上高	5,523	2,476		7,170	3,363	3,485	
		売上総利益	1,141	531	21.4%	1,417	539	604	17.3%
		営業利益	555	390	15.8%	1,273	433	431	12.4%
不動産運用サービス		売上高	10,819	5,547		12,310	6,028	6,293	
		売上総利益	2,430	1,479	26.7%	2,251	882	1,270	20.2%
		営業利益	1,171	1,062	19.1%	1,623	534	837	13.3%
不動産再生・流動化サービス	不動産販売	売上高	19,434	16,127		5,213	1,702	1,824	
		売上総利益	4,748	4,089	25.4%	900	438	300	16.4%
		営業利益	4,144	3,622	22.5%	806	391	183	10.0%
	受注	売上高	2	0				85	
		売上総利益	2	0				18	-
		営業利益	31	28				16	-
不動産再生・流動化サービス		売上高	19,436	16,128		5,213	1,702	1,910	
		売上総利益	4,750	4,089	25.4%	900	438	318	16.6%
		営業利益	4,113	3,594	22.3%	806	391	199	10.4%
その他	売上高	4	1		-	-	-		
	売上総利益	3	0		-	-	-		
	営業利益	1,363	495		868	390	454		
合計	売上高	30,260	21,676		17,523	7,730	8,204		
	売上総利益	7,183	5,570	25.7%	3,151	1,320	1,589	19.4%	
	営業利益	3,926	4,161	19.2%	1,561	535	582	7.1%	

(3) 不動産運用サービスのセグメント別・損益計算書(連結)

ストレージの流動化は売上高558百万円で、通期計画以上の進捗。ストレージ運営についての詳細は、P.8を参照。
リゾート・店舗は、予実比前倒しで進捗、メディアは計画通り。SOHO・駐車場では粗利率が想定を下回る結果となる。

単位:百万円

		2007年			2008年		
		通期実績	上半期	進捗率	通期計画 (当初)	上半期	進捗率
ストレージ	売上高	5,296	3,070	58.0%	5,140	2,807	54.6%
	粗利	1,289	948	73.5%	834	666	79.8%
	粗利率	24.3%	30.9%		16.2%	23.7%	
マンスリー	売上高	1,028	579	56.3%	788	413	52.4%
	粗利	71	27	38.0%	74	50	67.5%
	粗利率	6.9%	4.7%		9.4%	12.1%	
リゾート・店舗	売上高	1,296	559	43.1%	2,150	1,061	49.3%
	粗利	474	227	47.9%	716	357	49.8%
	粗利率	36.6%	40.6%		33.3%	33.6%	
SOHO	売上高	525	263	50.1%	656	320	48.8%
	粗利	114	64	56.1%	78	30	38.5%
	粗利率	21.7%	24.3%		11.9%	9.4%	
駐車場	売上高	1,736	630	36.3%	2,528	1,184	46.8%
	粗利	148	53	35.8%	256	2	0.8%
	粗利率	8.5%	8.4%		10.1%	0.2%	
その他 (貸地・メディア・ネットワーク他)	売上高	935	442	47.3%	1,045	505	48.3%
	粗利	332	156	47.0%	290	164	56.6%
	粗利率	35.5%	35.3%		27.8%	32.5%	
不動産運用サービス 合計	売上高	10,819	5,547	51.3%	12,310	6,293	51.1%
	粗利	2,430	1,479	60.9%	2,251	1,270	56.4%
	粗利率	22.5%	26.7%		18.3%	20.2%	

〔4〕貸借対照表(連結)

Page-7

所有不動産(土地・建物等の有形固定資産と販売用不動産)は、約249億円。一部棚卸資産(都心の商業ビル)を固定資産に振替。
自己資本比率 約39%(6月末)。借入金の内訳(短期借入+1年以内返済の長期借入:65億円・長期借入:112億円)

単位:百万円

科目	2007年 12月末	2008年 3月末	2008年 6月末	科目	2007年 12月末	2008年 3月末	2008年 6月末
現預金	4,096	2,919	1,892	借入金	19,620	18,403	17,745
棚卸資産	20,829	20,826	18,909	社債	1,125	990	990
その他	3,744	3,740	2,332	その他	3,167	3,085	2,746
流動資産 合計	28,669	27,487	23,134	負債 合計	23,912	22,479	21,482
有形固定資産	8,345	7,249	9,407	資本金	4,949	4,951	4,951
投資その他	1,640	1,831	1,842	資本準備金	4,994	4,996	4,996
無形固定資産	454	646	658	利益剰余金	5,295	5,083	3,897
				自己株式	-	256	258
固定資産 合計	10,441	9,727	11,908	評価・換算差額等	22	24	16
繰延資産	19	14	9	純資産(資本) 合計	15,217	14,749	13,570
資産 合計	39,129	37,229	35,052	負債・純資産 合計	39,129	37,229	35,052

〔5〕 ストレージ事業の2008年上半期実績

2008年6月末時点稼働率は、2006年末までにオープンした物件が約86.7%。2007年以降にオープンした物件は、約75.5%、2008年以降は67%と前年同時期55.5%と比較して大幅改善。 Page-8

2008年上半期は、営業利益で計画を上回る結果となった。その要因は流動化の100%以上の進捗と貸出賃料の伸びにある。

2007年上半期は流動化の売上が全体の半分を占めていたが、今上半期は、全体の1/4。ストレージ運営による収入は確実に伸びている。

項目		2004年	2005年	2006年	2007年	2007 上半期	2008年 上半期	2008年
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
P/L (連結) (百万円)	売上	1,128	1,685	2,242	5,296	3,070	2,807	5,140
	原価	840	1,249	1,786	4,007	2,122	2,141	4,304
	粗利	288	436	456	1,289	948	666	835
	営業利益	171	280	7	616	672	406	350
オープン室数(累積)	A 室数	8,787	12,422	19,648	31,692	24,564	32,785	34,692
累積契約数	B 件数	6,903	10,211	14,555	24,735	17,562	26,468	30,662
稼働率	B/A	78.5%	82.2%	74.1%	78.0%	71.5%	80.7%	88.6%
商品別 オープン済室数	トランク型	3,340	6,155	10,681	12,595	11,055	13,297	
	コンテナ型	5,388	6,197	8,897	19,027	13,439	19,418	
	バイクBOX型	59	70	70	70	70	70	
商品別稼働率	トランク型	74.4%	79.4%	69.4%	79.8%	75.5%	79.7%	
	コンテナ型	82.0%	86.0%	80.3%	76.8%	68.2%	81.5%	
	バイクBOX型	79.6%	72.9%	90.0%	91.1%	90.0%	95.0%	

単位:百万円

貸出し賃料に
加えて、流動化
収入も計上予定。内訳
流動化:450
貸出賃料:4,690ストレージの流動化
はコンテナ・トランク
ルームの内装設備
等が対象。上半期の内訳は
下記の通り。
(カッコ内は前年同期)売上
流動化:558(1,660)
貸出賃料:2,249(1,410)
粗利
流動化:253(699)
貸出賃料:412(249)2004年のみ
単体決算。



PART-2

2008年度エリアリンク株式会社
事業の方向性

エリアリンクはストック型の会社である。

基幹事業(ストレージ)の進化

全社システム再構築により、人員配置効率化(管理部門とストレージ本部で)実施。
抜本的コスト削減により、固定費軽減。
計画通りの事業進捗。
原価(変動費部分)ダウン・1室当り単価の値上げにより、利益率は改善。

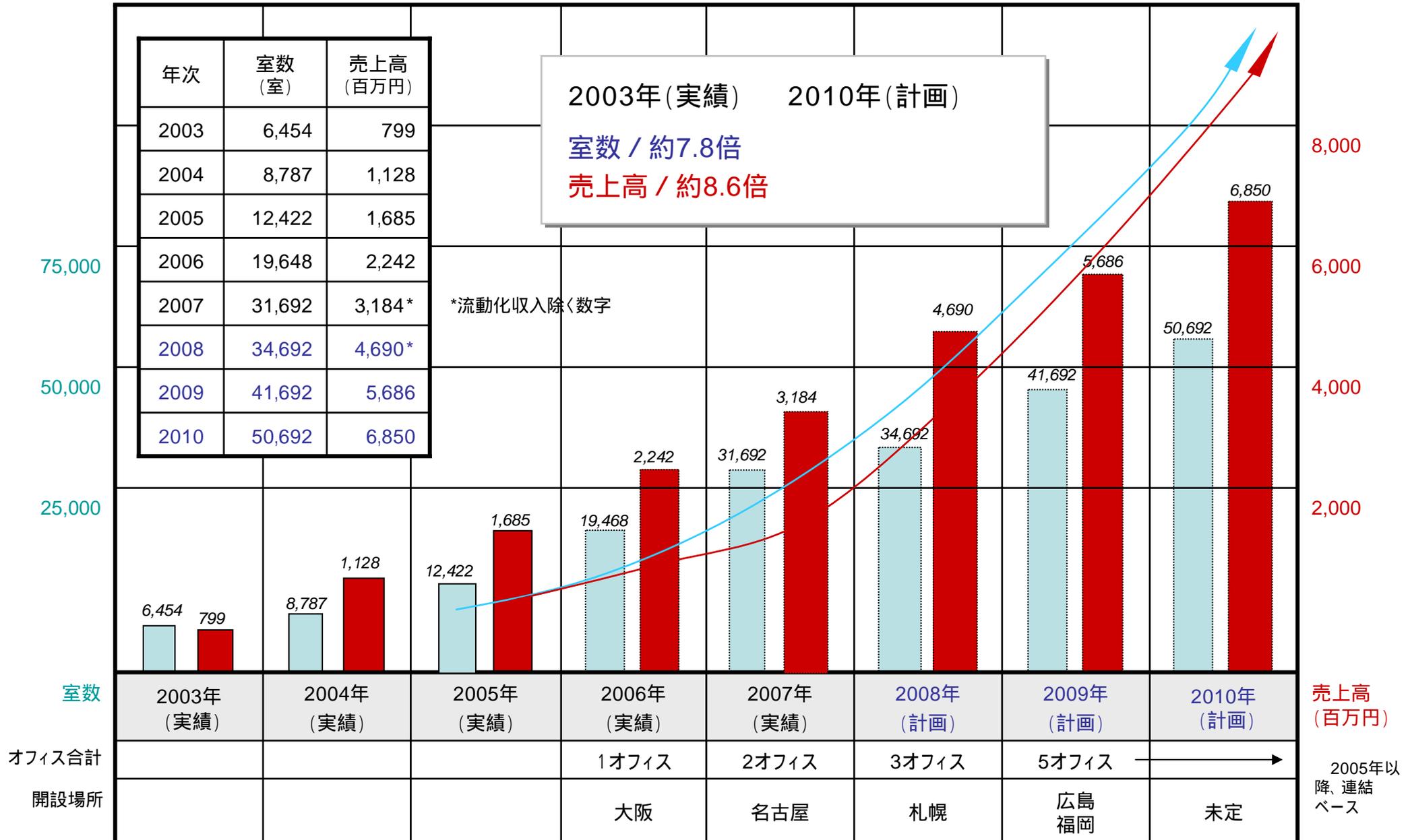
バランスシートの軽減

今後、棚卸資産を圧縮する方向性。

キャッシュフロー経営の実践

不動産取引	<p>弊社が参加する小規模物件(5億円以下)は、個人富裕層の参加が見られる。 (特に少額物件の取引は相対的に流動性がある。)</p> <p>都心のAクラスの優良物件・地方の物件と選別化が明確になる。 資金調達環境が一般的に厳しい中、廉価で優良物件の放出が下期に予想される。</p>
金融機関	<p>金融機関の不動産セクターへの貸し出しは低調。 (個別融資の現金比率も原則30%。)</p> <p>再生流動化案件の本部審査は厳格化。</p>
エクイティ市場	<p>不動産セクターは、全般的に低調な株価の値動きが継続。 不動産会社の事業ポートフォリオ(再生流動化依存度)により選別化。 機関投資家による『ストック型』に特化した弊社のモデルへの関心は強い。</p>

(3) セルフストレージ事業計画



〔4〕所有物件

売却対象と有形固定資産振替分を選別。

Page-13

単位：百万円

仕入区分	種別	簿価 (12月末)	件数	簿価 (3月末)	件数	簿価 (6月末)	件数
販売用不動産	ホテル	2,788	5	2,849	6	³ 4,970	7
	商業ビル・コインP	13,403	38	12,595	36	10,457	33
	住居系ビル・土地	1,539	8	1,575	7	1,501	6
	ストレージ	927	6	923	6	918	6
	計	¹ 18,659	57	¹ 17,944	55	17,847	52
有形固定資産	ホテル	4,046	6	3,919	5	3,161	4
	商業ビル・コインP	1,918	5	1,441	4	3,370	4
	住居系ビル・土地	289	4	286	4	292	4
	ストレージ他	119	1	141	2	238	3
	計	² 6,373	16	² 5,789	15	7,063	15
合計	25,033	73	23,733	70	24,910	67	

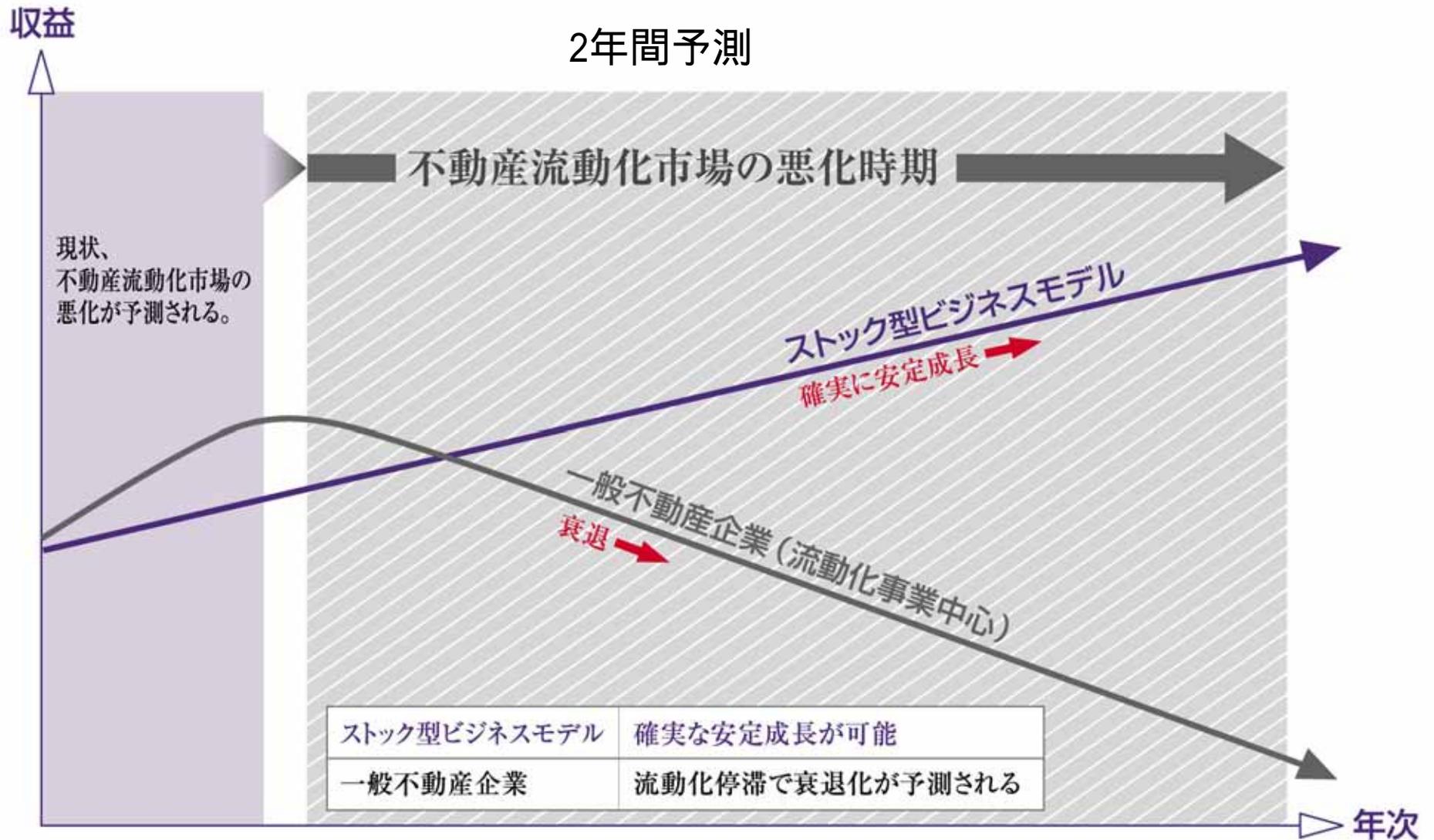
1 棚卸資産(18,909)との差異は販売用コンテナ・トランク。

2 有形固定資産(9,407)との差異は、構築物・備品・建設仮勘定等。

3 工事完成による増加。

(5) ストック型ビジネスモデルの特性

ストック型ビジネスと一般不動産企業との比較





PART-3

ストレージ事業

(1) セルフストレージとは

セルフストレージ事業 (SELF STORAGE)

都市生活者及び、事業者をターゲットとしたコンビニエンスなサービスを提供する収納スペース賃貸事業。

事業比較	セルフストレージ事業 SELF STORAGE	一般倉庫事業 WAREHOUSING
概要	都市のコンビニ感覚収納スペース賃貸事業	従来からある倉庫事業
事業対象	メインは B to C ※ビジネスユーザーも少なくない	基本的に B to B ※一部は B to C 事業に進出
許認可	不動産業による営業	倉庫業法による営業
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●身近に利用ができ便利 ●小型で手頃 ●24時間対応 ●地域密着サービス ●ユーザー密着サービス ●市場拡大により関連サービス充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模空間の管理体制
主な収納物	<ul style="list-style-type: none"> ●生活関連収納物 (衣料品、趣味用品、書籍、家具、電化器具、等) ●小規模事業用収納物 ●新しい収納空間利用の開発に需要拡大が見込まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ●大在庫類保管
	   <p>当社ハローストレージ</p>	 

(2) 商品ラインナップ

トランク型

(空ビルの効率利用)貸収納スペースの都心型事業で、ビルの1室を借りて、内部に造作を加えて区切り、利用者へ提供するサービス

(北砂)



(中十条)



コンテナ型

(郊外の空き地利用)所有者より土地を借りて内部を細かく区切った輸送用コンテナを収納スペースとして設置し利用者へ提供するサービス

(府中四谷)



(名古屋当地)



バイク型

(空き地の利用)当社が所有者より空地进行を借りて日単位、週単位、月単位で利用者へ高級バイク専用提供サービス

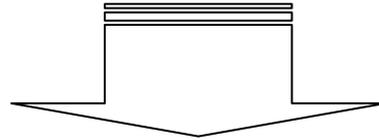


ストレージ事業は、2008年は、新規出店数を3,000室とし、体制の立て直しをする。
真水の賃料収入の増益率は拡大基調である。

項目		2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	
		実績	実績	実績	計画	計画	計画	
オープン室数	総室数	12,422	19,648	31,692	34,692	41,692	50,092	
	出店数	3,675	7,226	12,044	3,000	7,000	9,000	
	稼働率	82%	74%	78%	89%	88%	87%	
	契約純増数	3,308	4,344	9,820	6,000	6,000	7,000	
P/L (連結) (単位:百万円)	売上	賃料収入	1,685	2,242	3,184	4,690	5,686	6,850
		受注	-	-	146	0	0	0
		流動化	-	-	1,967	450	0	0
		合計	1,685	2,242	5,298	5,140	5,686	6,850
	原価	賃料収入	1,249	1,786	2,704	3,868	4,464	5,268
		受注	-	-	97	0	0	0
		流動化	-	-	1,208	436	0	0
		合計	1,249	1,786	4,010	4,304	4,464	5,268
	粗利	賃料収入	436	456	480	821	1,221	1,686
		受注	-	-	49	0	0	0
		流動化	-	-	759	14	0	0
		合計	436	456	1,288	835	1,221	1,686
	営業利益	賃料収入			140	→ 340	→ 668	→ 886
		受注			48	0	0	0
		流動化			708	10	0	0
		合計	280	7	615	350	668	886

(4) 管理体制の強化

背景:コンプライアンス・J-SOXとストック型ビジネスへの集中



ストレージ事業拡大に対応しうる管理体制の見直しと強化

-  効率化(業務フローの合理化・人員の適正配置)によるコスト削減
内部統制システムの確立
-  在庫管理の適正化・地域及び現場別PL管理の強化
-  リアルタイム営業情報の共有化により機動的物件仕入れの判断
-  ブランドの強化

基盤の強化により、中期計画の達成を確実にする。

[5] 現場の全国分布状況

Page-20

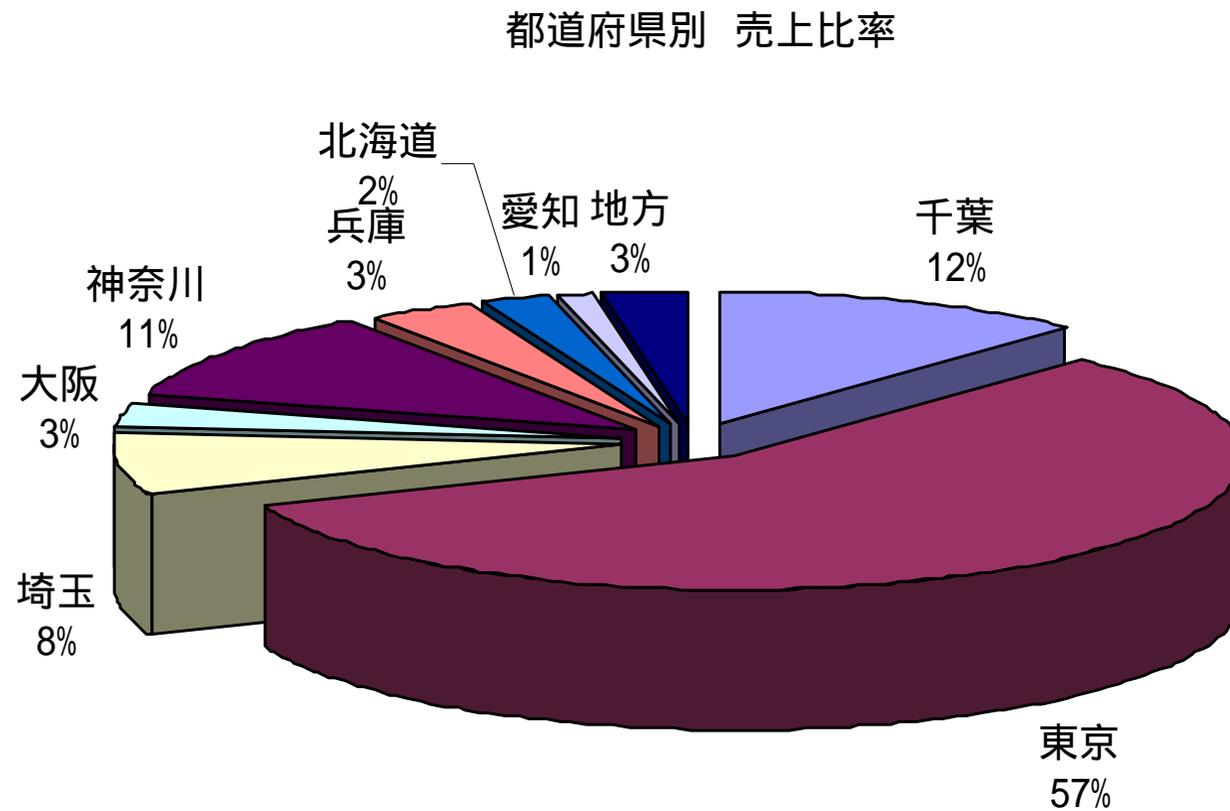
全体の約85%が首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)に集中している。政令指定都市を中心に全国展開したが、地方都市の稼働率の改善は、首都圏に遅れ、収益の改善も遅い。首都圏におけるストレージの認知度は地方より高く、ニーズの顕在化が稼働率の上昇の早いペースに反映されている。

B=バイク

地域	2007年 第2四半期 (6月末)			2007年 第4四半期 (12月末)			2008年 第2四半期 (6月末)		
	トランク	コンテナ	B	トランク	コンテナ	B	トランク	コンテナ	B
東京	7,761	5,081	11	9,012	6,530	11	9,622	6,708	11
神奈川	2,112	816	-	2,132	1,496	-	2,201	1,497	-
千葉	155	3,634	59	159	3,916	59	159	3,902	59
埼玉	489	1,919	-	550	2,072	-	573	2,218	-
大阪	360	455	-	355	848	-	355	816	-
北海道	131	182	-	270	1,276	-	270	1,276	-
兵庫	47	132	-	47	1,121	-	47	1,188	-
福島	-	29	-	-	29	-	-	29	-
愛知	-	265	-	70	438	-	70	458	-
宮城	-	-	-	-	132	-	-	157	-
福岡	-	43	-	-	251	-	-	251	-
鹿児島	-	334	-	-	354	-	-	354	-
沖縄	-	549	-	-	564	-	-	564	-
小計	11,055	13,439	70	12,595	19,027	70	13,297	19,418	70
総計	24,564			31,692			32,785		

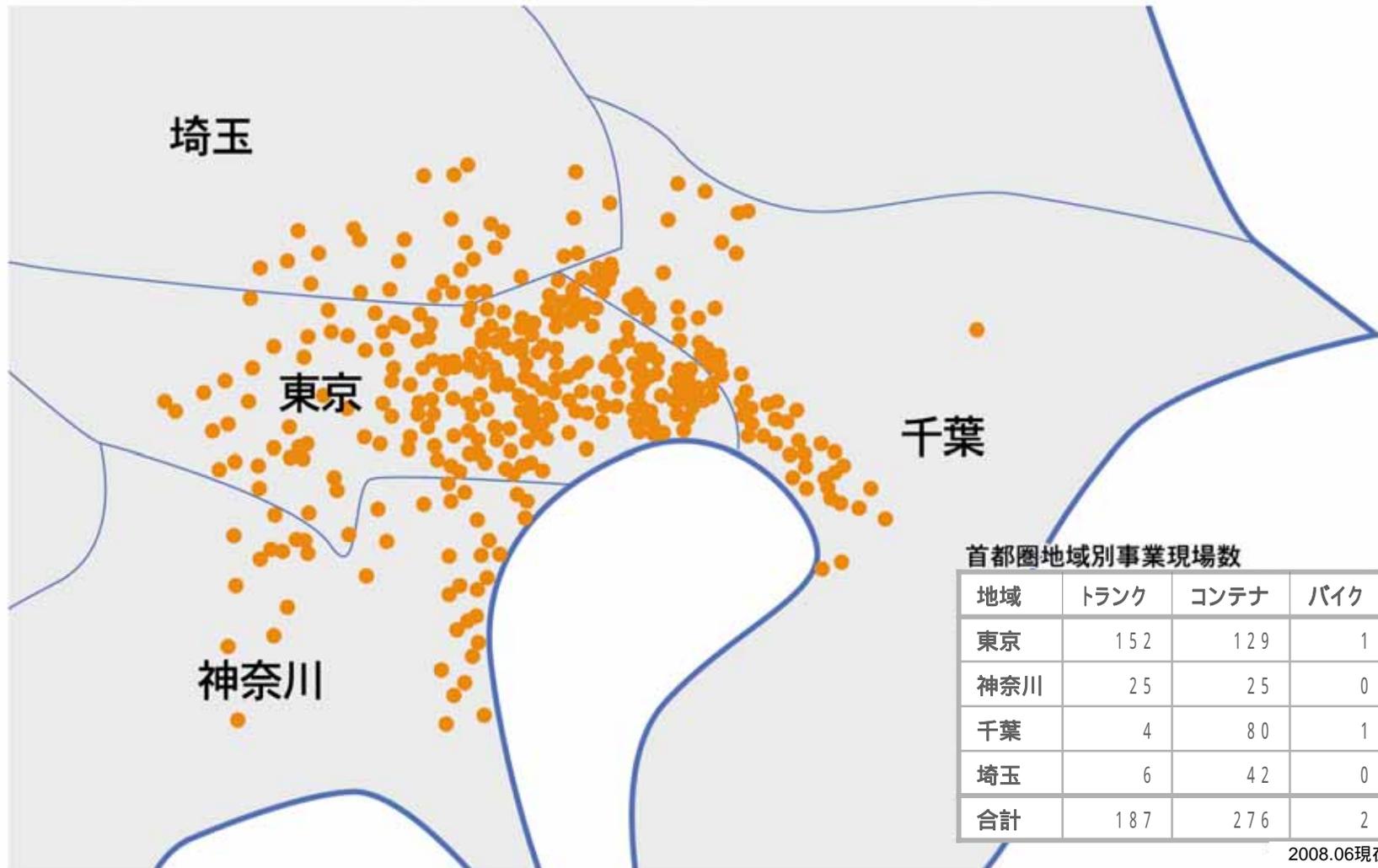
期	上半期 (6月末)	第4四半期 (12月末)	第2四半期 (6月末)
現場数	441	588	603

地域別の収支管理を徹底した結果、地域別の利益率は、首都圏の中でも東京と千葉ブロックが他を牽引する傾向がある。地方の貢献は低く、今後利益の改善が課題となる。



NOTE：首都圏を中心とした出店戦略を今期は推進する。

Page-22



〔8〕仕入形態・内装設備の調達形態

Page-23

仕入形態は、全体の96%は借り上げである。エリアリンクの仕入れの優位性は、一棟ものの中古ビルの購入でなく、借り上げによる機動的な出店戦略にある。

仕入形態	商品名	内装設備	2006年12月末		2007年6月末		2007年12月末		2008年6月末	
			室数	小計	室数	小計	室数	小計	室数	小計
借上	コンテナ	リース	2,393	8,878	2,393	13,373	5,869	18,887	7,640	19,158
		所有	1,933		2,530		4,080		1,438	
		受注	1,801		2,228		2,222		2,255	
		流動化	2,751		6,222		6,716		7,825	
	トランク	リース	155	9,984	50	10,320	162	11,690	50	12,357
		所有	6,157		5,138		5,925		7,243	
		受注	1,916		1,990		2,351		1,955	
		流動化	1,756		3,142		3,252		3,109	
	バイク	所有	59	59	59	59	59	59	59	59
	所有	コンテナ	リース	0	19	0	66	0	140	68
所有			19	66		74		110		
受注			0	0		0		6		
流動化			0	0		66		76		
トランク		所有	697	697	735	735	905	905	940	940
バイク		所有	11	11	11	11	11	11	11	11
合計室数			19,648		24,564		31,692		32,785	

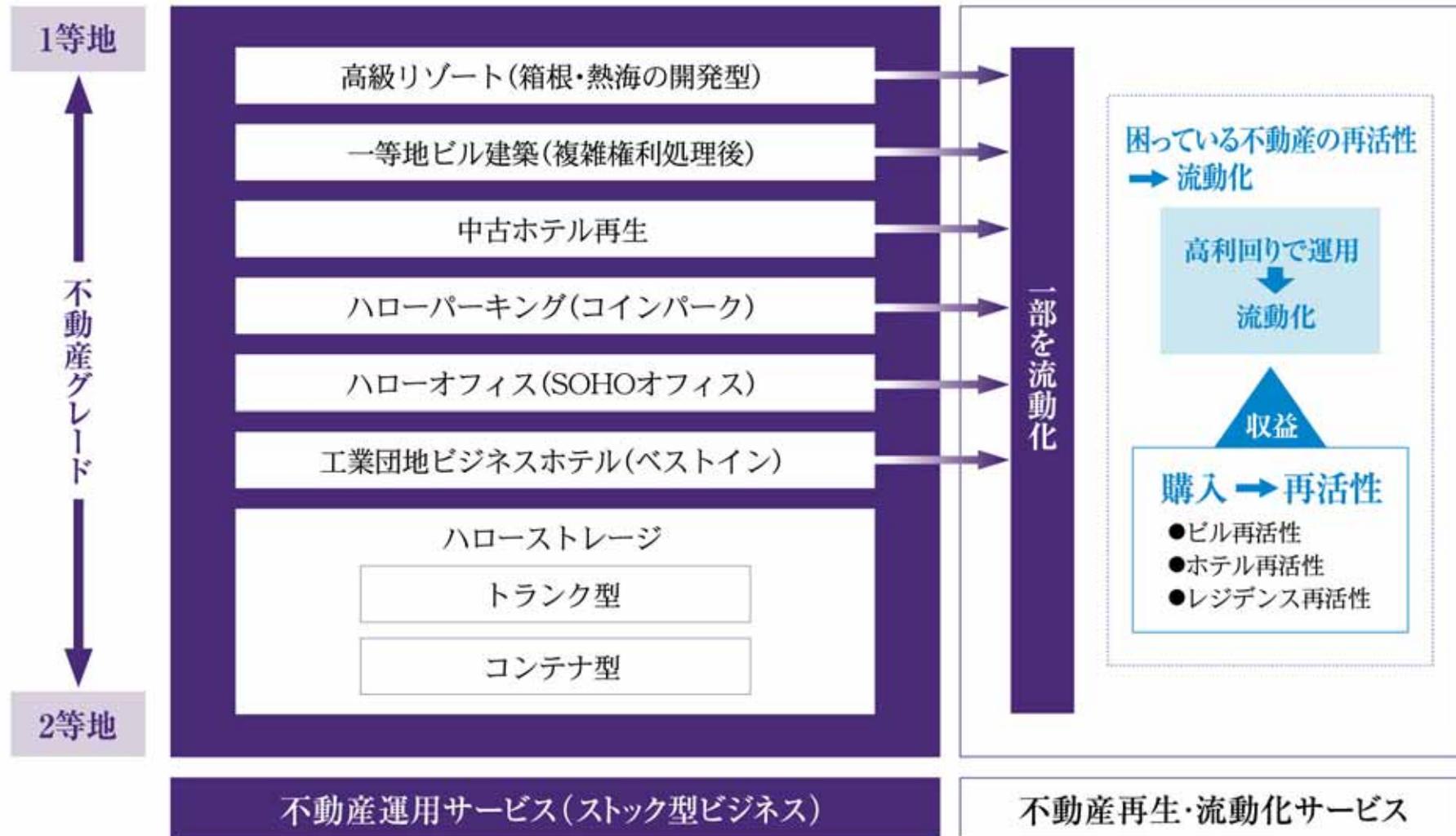
モデル物件概要

所在地	東京都新宿区中落合
交通	西武新宿線 下落合駅 徒歩6分
面積	361.22m ² (109.27坪)
室数	80室

単位:千円

区分	項目	自社保有A (100%自己)	自社保有B (20%自己)	借り上げ	受注
自社初期投資	区分建物取得費	80,000	80,000	-	-
	契約金	-	-	1,350	-
	看板代+チラシ	2,200	2,200	2,200	-
	内装工事代	20,241	20,241	20,241	-
	銀行借入(-)	0	81,953	0	0
	投資合計	102,441	20,488	23,791	0
自社収入額	想定満室月額賃料	1,609	1,609	1,609	1,609
	支払賃料	0	0	750	800
	経費(セキュリティ・光熱費他)	95	95	95	-
	償却費	496	496	139	-
	金利	0	145	0	-
	人件費	66.4	66.4	66.4	66.4
	月額経費計	657	803	1,050	809
	年額合計	11,419	9,678	6,703	9,708
投資利回り	満室	11.1%	47.2%	28.2%	-
	90%稼働	10.0%	42.5%	25.4%	-

ストック型事業に移行後は、再生流動化案件は、原則、購入を控える方針。





參考資料

〔1〕ストック型事業の進捗状況

基幹事業のストレージは順調に拡大基調。 駐車場は、2007年に現場購入により管理台数大幅拡大。
 マンスリーは、持分法関連会社 グッド・コミュニケーションに運営を委託し、縮小方向。

		2004/12末	2005/12末	2006/12末	2007/12末	2008/3末	2008/6末
ハイクBOX	室	59	70	70	70	70	70
	現場	1	2	2	2	2	2
コンテナ	室	5,388	6,197	8,897	19,027	19,221	19,418
	現場	118	143	183	398	404	406
トランク	室	3,340	4,147	8,959	10,901	12,801	13,297
	現場	49	65	125	152	190	195
SP(トランク)	室	1,600	1,722	1,722	1,694	合併	合併
	現場	34	37	37	36		
ストレージ 総合計	室	10,387	12,708	19,932	31,692	32,092	32,785
	現場	202	247	347	588	596	603
ホテル	室		367	352	765	843	924
	ホテル数		6	5	10	11	11
SOHO	室	60	198	359	716	741	741
	現場	3	11	17	24	25	25
コインP	台数	376	404	1,215	3,711	4,076	3,679
	現場	35	37	49	399	433	401
付置P	台数	183	309	234	326	365	364
	現場	13	22	19	22	24	24
マンスリー	室	993	975	829	471	463	461
	現場	94	79	71	50	49	48

〔2〕 海外のセルフストレージ市場 / ファクトシート

米セルフストレージの市場規模 (2008年1月31日現在)

セルフストレージ産業は、過去30年で米国の不動産業界で一番成長率が高い。
 1984年から2007年までで、セルフストレージのレンタルスペース合計は7倍の広さに拡大。
 米セルフストレージ産業時価総額は2200億ドル(26兆円以上)を超える。
 米セルフストレージ全店舗数は、2007年12月末で、**44,974**まで拡大。
 全米世帯の10%がストレージを利用。(1995年には全世帯の6%)

米セルフストレージ業界の上位3社 (2007年末)

順位	会社名	店舗数	室数	シェア(供給面積)
1	パブリックストレージ(+シャガード)	2,173	1,000,000	6.4%
2	エクストラスペース	637	434,000	2.2%
3	U ホール	1,057	384,751	1.7%
上位10社		5,222	2,640,797	12.8%
全体		44,974	17,580,000	100.0%

米国データ:セルフストレージ年報2008

米国シェア1位のパブリックストレージ社

時価総額 約1.5兆円(2008年4月14日現在)
 当期利益 約4.6億ドル(2007年度)

海外のセルフストレージ業界 (2006年 各国総店舗数)

英国 約600店舗 オーストラリア 約1000店舗 カナダ 約2600店舗 スペイン 約45店舗
 フランス 165店舗 ベルギー 21店舗 オランダ 108店舗 フィンランド 20店舗 ドイツ 40店舗
 英国市場の伸びは平均年10~15%と急成長をとげている。



4階建て



複合1階建て



ゲート付き



1階建て

(3) ストレージ事業現場 / トランク型

中十条
(東京)



市ヶ尾
(神奈川)



吹田新御堂筋
(大阪)



世田谷給田
(東京)



東雲
(東京)



学芸大
(東京)



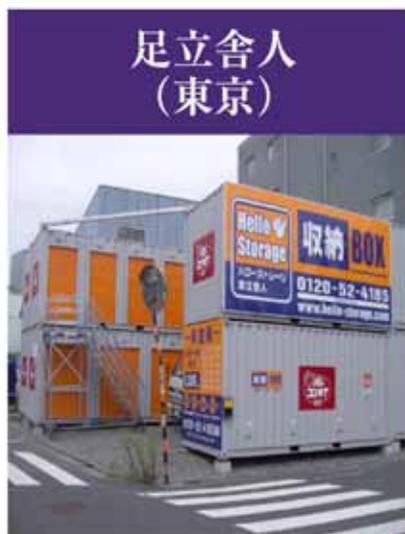
札幌白石
(北海道)



武蔵中原
(神奈川)



(4) ストレージ事業現場 / コンテナ型



当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先: エリアリンク株式会社 IR部 部長 松本 美奈

TEL / 03-3568 1690 FAX / 03-3568-1709

E-mail / info@arealink.co.jp